

24日に始まった徳島ビジネスチャレンジメッセで、樹脂を積み重ねて精密な立体物を作る「3Dプリンター」が注目を集めている。

本会場のアステイトくしまでは、徳島大学が卓上型3Dプリンターを展示し、造形のデモンストレーションを行った。歯科医療材料の研究開発を手掛けるデンタス(徳島市)も、歯科技工分野における3Dプリンターの活用を紹介。26日には小中学生などを対象にしたイベントを開く。

サテライト会場の県立工業技術センターで開かれた「3Dプリンターセミナー」には、四国の製造業者

3Dプリンターに熱い視線

ら80人が参加。3Dプリンターの世界トップメーカーである米ストラタシス社の国内販売代理店・丸紅情報システムズの担当者、市場動向や活用事例について講演した。



県立工業技術センターが導入した産業用3Dプリンターについて説明を受ける来場者＝徳島市

工技センターが導入した産業用3Dプリンターの見学会もあった。研究員が装置の構造などを解説し「3Dプリンターはものづくりのあり方、手順を大きく変える可能性がある」と話した。(湯浅翔子)